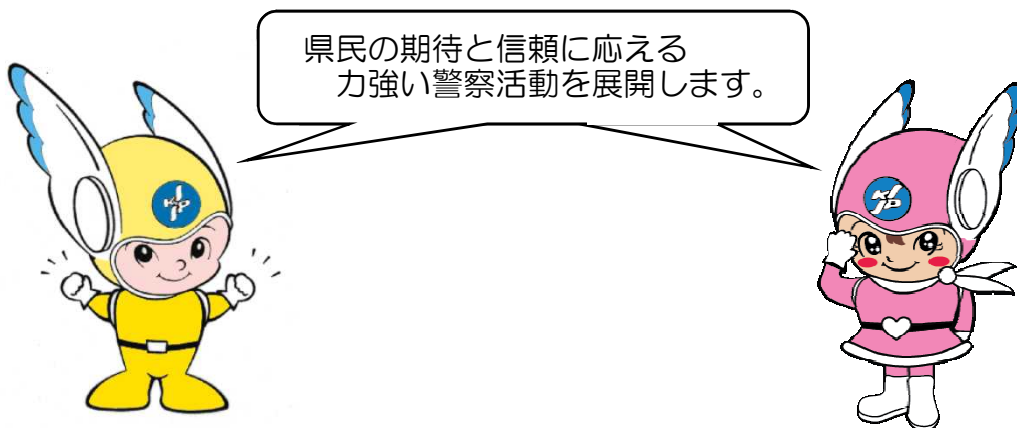


平成29年2月8日

平成29年度警察費当初予算（案）

- 平成29年度警察費当初予算(案)総括表
- 警察官の増員について
- 白バイ用カーロケータの新規整備について
- 新型速度測定機の新規整備について
- 交通安全教育車の新規整備について
- 交通安全施設整備費の概要
- 警察施設整備費の概要
- 茅ヶ崎警察署新築工事費
- 緑警察署及び津久井警察署新築工事基本設計費



警 察 本 部
(担当 会計課 課長代理 (内線) 2211)

平成 29 年度 警察 費 当 初 予 算 (案) 総 括 表

【基本的な考え方】 県警察の運営重点である「安全で安心して暮らせる地域社会の実現」に向け、既存事業の徹底的な見直しを行い、新たな警察事象や真に必要な施策に対する重点的な予算配分を行い、県民の期待と信頼に応える力強い警察活動を展開するための予算案とした。	【前年度対比】		(単位:千円)		
		平成29年度 当初予算(案)額	平成28年度 当初予算額	増 減	
				予 算 額	率
	人件費	168,208,701	163,232,701	4,976,000	3.0%
	物件費	28,793,221	30,605,502	△1,812,281	△5.9%
合計	197,001,922	193,838,203	3,163,719	1.6%	

		(単位:千円)	
柱/主な施策等/主な事業名	予 算 額	事 業 内 容 等	
安全で安心して暮らせる地域社会の実現			
人件費			
給与費(警察本部費)	165,536,293	警察官15,703人(増員57人)及び一般職員1,676人(減員3人)の給与費及び非常勤職員1,529人の報酬に係る経費 ※ P2「警察官の増員について」参照	
非常勤職員報酬(警察本部費)	2,672,408		
県民に不安を与える犯罪の抑止・検挙活動の強化			
通信指令室設備維持費	481,395	犯罪の抑止、街頭活動及び検挙活動強化のための経費 ※ P3「白バイ用カーロケータの新規整備について」参照	
振り込め詐欺被害防止対策推進事業費	101,357		
人身安全関連事案に対する的確な対処			
生活安全警察費	41,058	ストーカー対策等の人身安全関連事案に対処するための経費	
交通死亡事故の抑止			
交通取締資器材整備費(投資)	61,526	効果的な交通安全教育や交通違反取締りを行い、交通死亡事故等を抑止するための経費 ※ P4「新型速度測定機の新規整備について」参照 ※ P5「交通安全教育車の新規整備について」参照	
運転免許費	3,504,051		
(新) 高齢者等交通事故防止対策費	35,509		
テロ、大規模災害等総合対策の強化			
総合指揮室設備維持費	125,134	テロや大規模災害発生時における、警察活動に必要な資器材整備及び情報・命令を一元化し総合的な指揮を円滑に推進するための経費	
災害対策資器材整備費	34,549		
県民の安心感を高める街頭活動の強化			
警察車両整備費	251,105	地域警察官等の街頭活動を強化するために必要な、警戒警らや検問等の資器材のほか、車両、船舶、ヘリコプターの整備及び維持に必要な経費	
地域警察活動関係費	37,775		
総合的な組織犯罪対策の強化			
組織犯罪対策費	110,077	暴力団や国際犯罪組織などの反社会的集団等に対する総合対策を推進し、犯罪インフラ等の撲滅を図るための経費	
少年非行防止・保護総合対策の強化			
少年警察費	43,942	少年の非行防止及び保護に係る総合対策を強力に推進するための経費	
サイバー空間の脅威に対する総合対策の強化			
サイバー犯罪対策費	18,154	サイバー空間における犯罪に的確に対応するため、人的及び物的対処能力の向上を図るための経費	
オリンピック・パラリンピック等に向けた総合対策の推進			
ヘリコプターテレビシステム整備費	124,782	オリンピックなどの大規模イベントにおける雑踏警備等に要する経費 新型ヘリテレ搭載換え用架台の整備 メガホン型翻訳機(2台)の新規整備	
(新) 一般警察活動資器材整備費	318		
道路交通の円滑化及び交通事故抑止対策の推進			
交通安全施設整備費	3,192,000	※ P6「交通安全施設整備費の概要」参照	
警察活動基盤施設の整備			
警察施設整備費	4,728,838	※ P7「警察施設整備費の概要」参照	

警察官の増員について

1 目的

警察庁が総務省に対して要望していた地方警察官の増員が、平成29年度地方財政計画に盛り込まれ、国の予算案が昨年末に閣議決定された。

増員が必要な理由としては、人身安全関連事案対策の強化、特殊詐欺対策の強化及び我が国を取り巻く国際情勢の変化に対応するための事態対処能力の強化を図るためとしており、全国で886人、本県には57人の増員が認められた。

2 神奈川県地方警察職員定数条例改正(案)

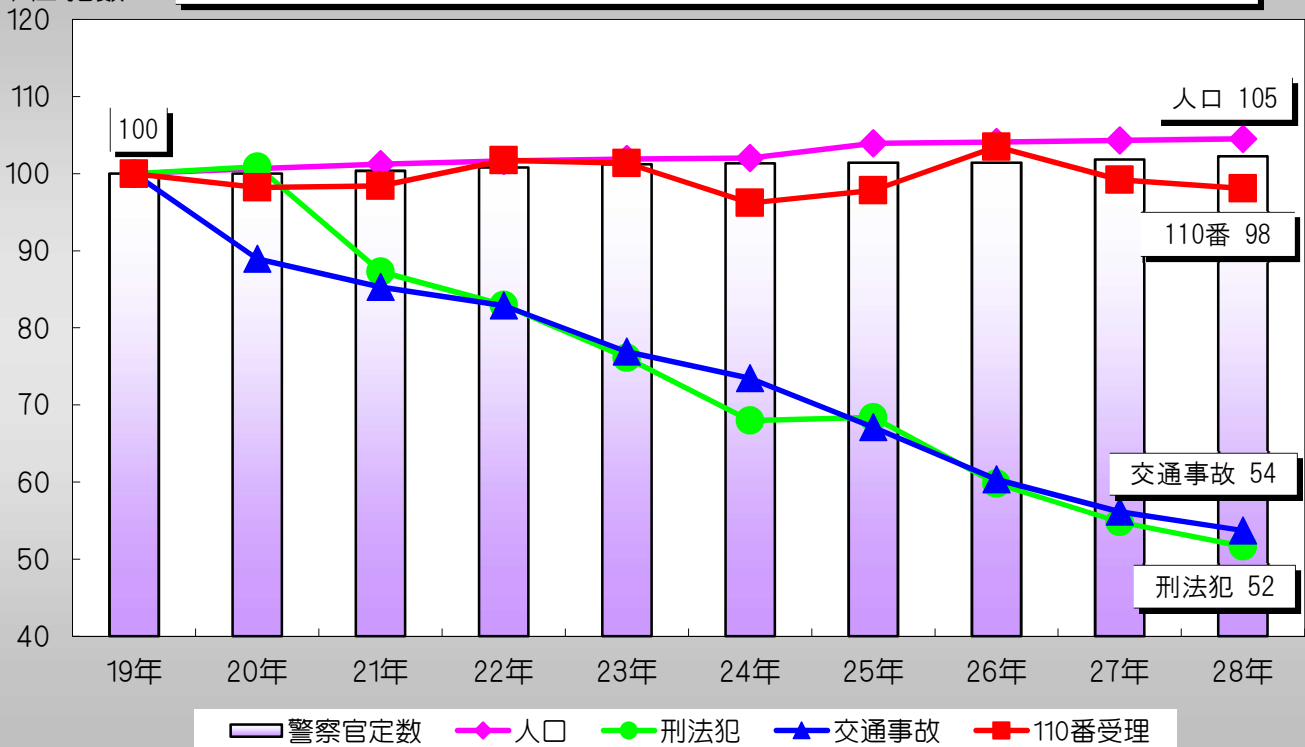
第2条第1項

(単位：人)

	警察官					警察官以外の職員	合計
	警視	警部	警部補及び 巡査部長	巡査	小計		
条例改正後定数	393	926	9,438	4,946	15,703	1,676	17,379
現行定数	391	923	9,403	4,929	15,646	1,679	17,325
定数増減	2	3	35	17	57	△3	54

単位:指数

過去10年の各種指数値推移



	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
警察官定数	15,304	15,304	15,359	15,425	15,490	15,507	15,523	15,523	15,583	15,646
人口	8,741,025	8,798,289	8,848,329	8,885,458	8,906,590	8,917,368	9,083,643	9,100,606	9,116,666	9,136,151
刑法犯	112,529	113,556	98,216	93,369	85,659	76,511	76,962	67,295	61,664	58,127
交通事故	50,450	44,876	43,017	41,815	38,800	37,049	33,847	30,434	28,313	27,091
110番受理	746,871	733,477	735,028	759,805	756,899	718,416	730,697	772,853	740,751	732,562

※ 人口は住民基本台帳によるもの。

問い合わせ先

警察本部警務部警務課企画室 副室長 045-211-1212 (内線) 2691

白バイ用カーロケータの新規整備について

1 目的

白バイにカーロケータを搭載することにより、2020東京オリンピック・パラリンピックや2019ラグビーワールドカップ等を狙ったテロへの警戒のほか、大規模な事件事故や災害が発生した際の、緊急配備発令時におけるパトカーや捜査車両との一元的指令による総合的かつ効果的な初動警察活動を行う。

2 予算額

1,435千円（【通信指令室設備維持費】 481,395千円）

3 事業内容

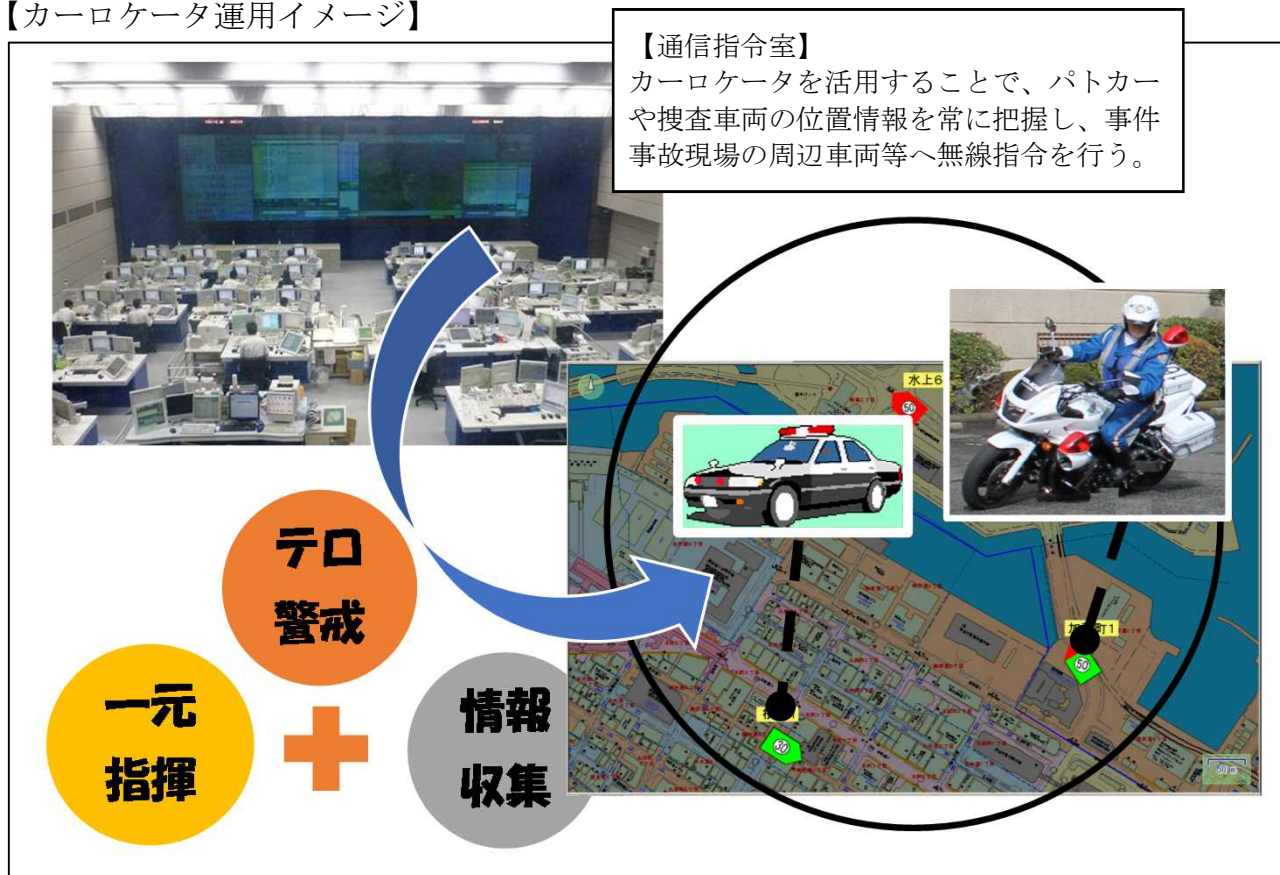
従来の通信指令設備に加え、パトカー等常時巡回している車両と同様に、2020東京オリンピック・パラリンピック等の会場周辺で活動する交通機動隊の白バイ35台に新たにカーロケータを整備する。

4 導入効果

事件事故や緊急配備に対して、白バイの機動力を最大限に活用した迅速な対応ができるほか、白バイからの緊急要請にも即応することができ、効率的かつ安全な警察活動を展開できる。

パトカー等の車両とともに、一元的指令による初動警察活動を行うことができ、各種事案の早期解決に寄与することができる。

【カーロケータ運用イメージ】



現状のカーロケータを搭載したパトカーや捜査車両に加え、新たに白バイへカーロケータを搭載することで、より現場に近い車両等に無線指令を行うとともに、周辺車両等に対して先行配置、検問、追跡等を指示する。

問い合わせ先
警察本部地域部通信指令課 課長代理 電話045-211-1212（内線）3611

新型速度測定機の新規整備について

1 目的

従来の交通取締資器材に加え、住宅地の中にある道路や通学路などで、幅員が狭い「生活道路」における速度違反取締りが可能となる新型速度測定機を導入し、交通事故実態や住民の要望に応じた取締りを積極的に実施することで、生活道路等を通行する車両の速度抑制を促し、交通事故抑止を図る。

2 予算額

43,200千円（【交通取締資器材整備費】 61,526千円）

3 事業内容

生活道路での速度違反取締りを実施するために、従来からの速度測定機能に違反車両の撮影機能を付加し、省スペースでの取締りが可能となる新型速度測定機を導入する。

手 法	説 明	メ リ ッ ト	デ メ リ ッ ト
定 置 式	取締り現場に可搬式速度測定機を設置し、その場で違反者の検挙を行う。	持ち運びが可能のため、場所を変えて臨機応変に取締りが可能。	違反車両を現場で停止させるため、一定のスペースが必要であり、取締り場所が限定される。
固 定 式 (オービス)	高速道路や主要幹線道路に固定設置し、速度違反車両を写真撮影し事後捜査により違反者を特定して、検挙を行う。	事後捜査のため、現場での人員や違反車両を停止させるスペースが不要。	道路脇に装置を埋め込むため、場所を変えた臨機応変な取締りができない。

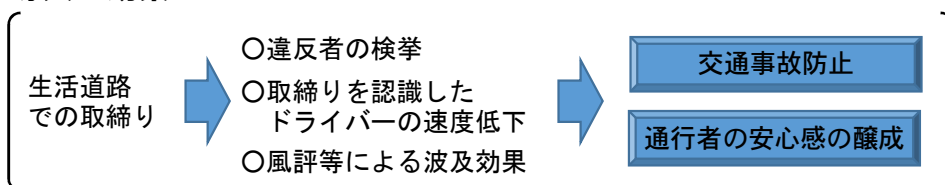
両者のメリットを活かしつつ、デメリットを解消



新 型 速 度 測 定 機	持 ち 運 び が 可 能 → 場所を変えた臨機応変な取締り 写 真 撮 影 機 能 → 事後捜査が可能、省スペースでの取締り	機 動 的 か っ 効 率 的
--------------------------	--	-----------------------



導入の効果



問い合わせ先
警察本部交通部交通指導課 課長代理 電話045-211-1212（内線）5111

交通安全教育車の新規整備について

1 目的

高齢者が関係する交通事故の割合が増加傾向にあるため、交通安全教育車を導入し、その機動力を活かして市町村、自治会、老人クラブ等に出向いて、参加・体験・実践型の交通安全教育を行い、交通安全意識の向上を図ることによって交通事故を抑止し、人生100歳時代に向けた安全、安心対策を実施する。

2 予算額

35,509千円

3 事業内容

高齢者等が「認知力」、「判断力」、「動作力」及び「瞬間記憶力」を認識することを目的とした、参加・体験・実践型の交通安全教育を実施するため、身体を動かしながらゲーム感覚で体験することができる、歩行環境シミュレータ、自転車シミュレータ、運転・歩行能力診断機器等を搭載した交通安全教育車を導入する。



自転車シミュレータ



歩行環境シミュレータ



運転・歩行能力診断機器

問い合わせ先

警察本部交通部交通総務課 課長代理 電話045-211-1212 (内線) 5020

交通安全施設整備費の概要

計画	道路利用者の交通の安全を確保するため、事故防止及び渋滞解消対策を目的とした信号制御機、信号灯器、道路標識等の交通安全施設を順次整備し、円滑な交通環境を計画的に整備する。
----	--

(単位:千円)

事業名 / 内容	予算額
交通管制施設設備費 老朽化した集中制御機等の更新を行い、エリア及び周辺の交通の安全の確保と円滑化を図る。 [主な整備内容] 集中制御機の更新 60基	799,628
交通信号機改良費 老朽化した単独制御機等の更新及び感応化、多現示化等の付加機能による信号機の改良を図り、交通実態に対応した信号機の整備を推進する。 [主な整備内容] プログラム多段系統化 52基 押ボタン化 30基	538,170
円滑化対策交通安全施設整備事業費 交差点改良による信号柱の移設及び災害対策のための配線地中化等、渋滞対策と交通流の円滑化を推進する。 [主な整備内容] 信号柱更新 300式 配線地中化 7箇所	261,876
大型道路標識設置費 老朽化した大型道路標識の更新等を推進する。 [主な整備内容] 大型道路標識の更新 155本	147,825
路側式道路標識、標示設置費 平成27年までに把握している著しく摩耗し視認性が低下している道路標示補修計画を3か年から2か年に短縮し、重点的な補修工事を行い、平成29年度中に完了させる。 老朽化した道路標識の倒壊を未然に防ぐため、道路標識の更新を行う。 [主な整備内容] 道路標示の補修 447km 路側式道路標識の更新 3,678本	778,332
交通安全施設更新事業費 老朽化した単独制御機、信号灯器及び信号柱を更新し、交通安全施設の適切な維持を図る。 [主な整備内容] 信号灯器の更新 50式 信号柱の更新 300式	539,433
交通信号機等設置費 信号機の新規設置等により、交通の安全と円滑化を図る。 [主な整備内容] 信号機の新設 17箇所	126,736

問い合わせ先

警察本部交通部交通規制課 課長代理 電話045-211-1212 (内線) 5161

警 察 施 設 整 備 費 の 概 要

計画 県民の安全を守る警察活動拠点である「警察署」及び「交番」などについて、社会情勢の変化への対応及び施設の老朽や狭あい、耐震性の状況などを視野に入れた計画的な整備を図る。

(単位:千円)

項 目 / 内 容	予 算 額			
大磯警察署新築工事費	171,000			
平成27年度～平成29年度 継続事業	総額：17億 600万円			
厚木警察署新築工事費	1,794,000			
平成28年度～平成30年度 継続事業	総額：27億6,000万円			
新 茅ヶ崎警察署新築工事費 P 8 参照	110,000			
平成29年度～平成31年度 継続事業	総額：22億 600万円			
浦賀警察署新築工事実施設計費	90,100			
浦賀警察署新築工事に係る実施設計費				
新 緑警察署新築工事基本設計費 P 9 参照	47,700			
緑警察署新築工事に係る調査・基本設計費				
新 津久井警察署新築工事基本設計費 P 9 参照	39,300			
津久井警察署新築工事に係る調査・基本設計費				
新 警察署庁舎耐震改修工事費	72,000			
逗子警察署庁舎耐震改修工事に係る経費				
警察署新築工事関連事業費	15,000			
警察署新築工事に伴い、周辺建物の電波受信、家屋等の状況を調査する経費				
公舎再編整備計画関係業務費	17,518			
民間活力活用（PPP方式）を踏まえた公舎整備のアドバイザー業務委託に要する経費				
☆ 運転免許試験場特定事業費	2,225,220			
民間活力活用（PFI手法）による運転免許試験場の整備、維持管理等に要する経費				
平成27年度～平成49年度 特定事業契約	契約金額：195億4,594万円			
交番新築工事費	147,000			
交番・駐在所の新築工事費及び翌年度建替予定の交番の設計及び地質調査に係る経費				
建替交番				
	所 属 名	交 番 ・ 駐 在 所	区 分	[金額には、不動産投資事業により建設した交番等の償還金を含まない。]
1	相模原警察署	(仮称)南橋本駅前地区交番	適正配置	
2	相模原南警察署	(仮称)北里地区交番	適正配置	
3	田浦警察署	湘南鷹取駐在所	老朽建替	
設計及び地質調査を行う交番				
	所 属 名	交 番	区 分	
1	港北警察署	(仮称)日吉宮前地区交番	適正配置	
2	海老名警察署	(仮称)さがみ野駅前地区交番	適正配置	

問い合わせ先

☆について 警察本部交通部運転免許本部免許課新庁舎建設室 電話 045-211-1212(内線)785-380

☆以外 警察本部総務部施設課 課長代理 電話 045-211-1212(内線)2261

(新) 茅ヶ崎警察署新築工事費

現 状 (沿革等)	昭和38年3月 庁舎(本館)建築(築後53年経過) 昭和53年2月 別館増築 → 庁舎内配置複雑化、敷地狭隘化(来庁者用駐車場確保が困難) 平成9年 本館耐震補強工事														
事業内容	地域の安全・安心の要、治安維持の拠点、さらには大規模地震発生時における応急活動拠点として、県民の安全と安心を守る機能を備えた庁舎への建替えを実現するため、平成27年度の調査基本設計、平成28年度の実施設計に引き続き、平成29年度から3か年継続事業としての庁舎新築工事に着手する。														
予 算 額 (継続費)	平成29年度～平成31年度 3か年継続事業 総予算額 2,206,000千円 【内訳】 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">平成29年度</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">平成30年度</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">平成31年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">110,000千円</td> <td style="text-align: center;">1,434,000千円</td> <td style="text-align: center;">662,000千円</td> </tr> </table>			平成29年度	平成30年度	平成31年度	110,000千円	1,434,000千円	662,000千円						
平成29年度	平成30年度	平成31年度													
110,000千円	1,434,000千円	662,000千円													
施設等の概要	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 50%;">現 況</th> <th style="width: 40%;">計 画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td>茅ヶ崎市十間坂1丁目3番25号</td> <td>茅ヶ崎市茅ヶ崎3丁目地内</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">敷 地</td> <td> 県有地 1,735.50㎡ (庁舎)RC-3 2,625.51㎡ (その他) 140.95㎡ </td> <td> 茅ヶ崎市有地 3,828.00㎡ (庁舎)RC-4 4,120.78㎡ (車庫等)S-1 309.50㎡ </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">建 物</td> <td>合計 2,766.46㎡</td> <td>合計 4,430.28㎡</td> </tr> </tbody> </table>				現 況	計 画	所在地	茅ヶ崎市十間坂1丁目3番25号	茅ヶ崎市茅ヶ崎3丁目地内	敷 地	県有地 1,735.50㎡ (庁舎)RC-3 2,625.51㎡ (その他) 140.95㎡	茅ヶ崎市有地 3,828.00㎡ (庁舎)RC-4 4,120.78㎡ (車庫等)S-1 309.50㎡	建 物	合計 2,766.46㎡	合計 4,430.28㎡
	現 況	計 画													
所在地	茅ヶ崎市十間坂1丁目3番25号	茅ヶ崎市茅ヶ崎3丁目地内													
敷 地	県有地 1,735.50㎡ (庁舎)RC-3 2,625.51㎡ (その他) 140.95㎡	茅ヶ崎市有地 3,828.00㎡ (庁舎)RC-4 4,120.78㎡ (車庫等)S-1 309.50㎡													
建 物	合計 2,766.46㎡	合計 4,430.28㎡													
主 な 機能強化	<ol style="list-style-type: none"> 1 災害時の応急活動拠点としての機能整備 大規模地震に耐えられる構造とし、大規模災害発生時における応急活動の拠点となる警察署として整備する。 2 地域住民への行政サービスの充実強化 窓口待合スペース、来庁者用の駐車場を拡充し、行政サービスの充実を図る。 3 かながわソーラープロジェクトの推進 災害時における必要最小限の電力確保及び平常時の省エネルギー対策に資するため太陽光発電設備を整備する。 														
【茅ヶ崎警察署：外観予想図】															
															

(新) 緑警察署及び津久井警察署新築工事基本設計費

	緑 警 察 署	津 久 井 警 察 署
現 状 (沿革等)	昭和48年3月 庁舎建築(築後43年経過) 耐震診断結果：大規模な補強が必要	昭和36年3月 庁舎建築(築後55年経過) 昭和56年3月 別館増築 → 敷地狭隘化 耐震診断結果：補強が必要
目 的	地域の安全・安心の要、治安維持の拠点、さらには大規模地震発生時における応急活動拠点として、県民の安全と安心を守る機能を備えた庁舎への建替えを実現するため、警察署新築工事のための調査・基本設計を行う。	
予 算 額	47,700千円	39,300千円
建 設 予 定 地	横浜市緑区中山町93番1 (横浜市有地)	相模原市緑区中野937番地2 (県津久井合同庁舎敷地内：県有地)
主 な 機 能 強 化	(1) 災害時の応急活動拠点としての機能整備 大規模地震に耐えられる構造とし、大規模災害発生時における応急活動の拠点となる警察署として整備する。 (2) 地域住民への行政サービスの充実強化 窓口待合スペース、来庁者用の駐車場を拡充し、行政サービスの充実を図る。 (3) かながわソーラープロジェクトの推進 災害時における必要最小限の電力確保及び平常時の省エネルギー対策に資するため太陽光発電設備を整備する。	
スケジュー ル (予 定)	平成29年度 調査・基本設計 平成30年度 実施設計 平成31年度～平成33年度 新築工事	平成29年度 調査・基本設計 平成30年度 実施設計 平成31年度 旧合同庁舎解体 平成32年度～平成33年度 新築工事

【緑警察署：現地案内図】



【津久井警察署：現地案内図】

